

成人鼠径ヘルニア

About scrotal hernia operation

手術の話

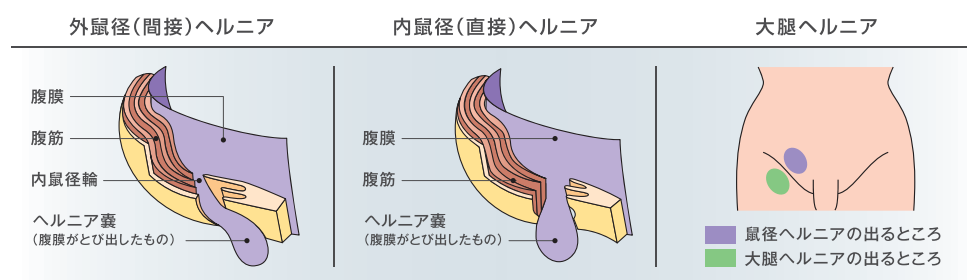
術後のQOL*向上を目指した手術

成人鼠径ヘルニアにはさまざまな手術法がありますが、いずれの場合にも、手術後の痛みやヘルニアが再発しないこと、手術時間や入院期間が短く、早くもとの生活に戻れることが大切です。このようなことから、最近は人工補強シートを用いた、患者様の負担が少ない手術が行われるようになって参りました。

*QOL:クオリティーオブライフ

成人鼠径ヘルニアとは？

ある臓器が体の弱い部分やすき間から他の部位へ出てくる状態をヘルニアといいます。この症状は、体のいろいろなところで起こりますが、足の付け根付近で起こるものに、「鼠径ヘルニア」「大腿ヘルニア」があります。鼠径ヘルニアは、小腸が出てくるため、俗に「脱腸」と呼ばれています。

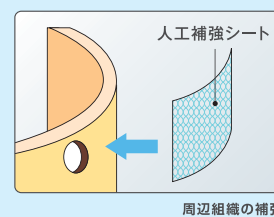


症状

- ▶ 立ち上がった時、お腹に力を入れると足の付け根（鼠径部）が膨らみ、男性の場合、大きなものでは陰嚢まで達するものもあります。
- ▶ こぶ状の膨らみやしこりは、体を横にしたり、手で押さえると消えることがあります。
- ▶ 腸が出たり入ったりしている際は、軽い痛みやつっぱり、便秘が起きる程度で、強い痛みなど特別な症状はありません。
- ▶ とび出したまま戻らない場合（嵌頓状態）は緊急手術が必要になります。

治療は手術が中心となります！

昔から行われている方法に、腹筋の筋肉を縫い合わせてヘルニアの出口を塞ぐ手術方式があります。この方法は手術後、足の付け根のつっぱり感がしばらく続くのが難点です。また、加齢とともに筋肉組織が弱くなり再発することもあります。最近はヘルニアの出口を塞ぐとともに腹壁の補強ができる人工補強シートを使った手術が多くなってきました。この方法は腹壁が弱っても人工補強シートがあるので手術後の再発が起こりにくくなります。



体に異物を入れたらどんなことが起こる？

人工補強シートはメッシュ状になっており、手術後のつっぱり感や痛み、再発が少ないことが特徴です。しかし、その反面、異物を埋入するため、痛みや異物感を感じるケースもあります。

人工補強シートのポイント

くしゃみや咳など、日常生活でおこる負担に耐え得る強度があるもの。

より重量が少なく、柔らかい素材で、異物感や痛みを軽減できるもの。

人工補強シートってどんなの？

人工補強シートは、フラット型や形状付加型など様々な種類のものがあります。最近では術後、部分的に吸収される素材のメッシュも登場し、従来のメッシュより柔らかく異物量も少なくなるため異物感の軽減が期待されています。



患者さんにとってやさしい手術を目指して